

# 戦争と道路

多田基

自動車運輸は鐵道運輸に對し種々なる長所を持つてゐるが就中其の内でも、(一)輸送の融通性、(二)スピード輸送、(三)輸送の完全性、(四)貨物輸送に於ける荷送りの簡易等の諸點が普通に擧げられる。

此等の長所は、自動車を制約する道路並に鐵道を制約する軌條の整備を前提とした上比較して得たる結果であるが、兩交通機關の制約物たる軌條及道路の建設、修繕及維持の難易並に費用の高低から觀察すると道路の方が遙かに優れてゐると云ふことが出来る。國防交通の視角からは、上述の輸送の融通性と共に此の點が重要視されて來る。尤も自動車運輸は自動車工業並に自然燃料又は人造燃料の生産程度に依存してゐることは言ふ迄もない。

○  
自動車工業の進歩及自然燃料の豊富を誇る米合衆國は道路交通の國防的性質を深く認識して之が發展を期しつゝある。即ちワシントン市米國道路建設協會技師長チャールズ・M・アパム氏は或る

インターヴューの席上に於いて次の如き所見を述べてゐる。

「全體主義國の虎狼が米國の生産力並に之が招來する繁榮に貪慾の眼を向けてゐる刻下の世界危機に際しては、高級道路組織以外に米國人に幸福を齎らすものはない。我が國防は完璧でなければならぬ」と云ふルーズヴェルト大統領の警告は、米國の國防準備が全面的に行はれねばならぬことを意味してゐる。米國陸軍省は既に有效なる道路價值を認識し、之こそ國防上須要なる手段であると指摘してゐる。米國の欲せざる戦争に對する準備の新規事業以外に、國內に於ける工業並に農業の重要地點と戰略上國防上重要なる地點とを連結する地方間道路網の計畫は、國防準備大專業として明白なる重要性を帯びる。非常時に際し全軍需品工場を國內の安全地帯に設置すべき計畫には、近代的道路を通じて海岸及國境の集結地點に迅速且つ有効に輸送を行ふことが必要となつて來る。米合衆國は今や國防上必要視されたる萬端の準備に従事してゐる。米國の飛行機及機械化部隊は諸外國の準備に劣らざらんことを期してゐるから、若し米國が參戰することになれば、航空隊機械化部隊はアメリカ武力の誇るべき傳統を維持することであらう。併し乍ら勝利は今日に於いても尙地上活動と占據に依存してゐる。この勝利は近代的な堅牢なる耐久道路なしには獲得出來ない。優秀道路は我々に便宜を興へる許りではなく我々を保護するものである」と。

アバム氏の右の意見は素朴ではあるが、アメリカ廣域圖に於ける指導的國家を以て任せる米合衆國が道路の國防的機能をも十分發揮するやう勸告したものと見ることが出來よう。米合衆國は大洋

を距てて假想敵國を有してゐるが隣接諸國は親米國か、又はたとへ敵意は抱けるとしても弱小國に過ぎざる爲、歐羅巴大陸に於ける獨逸の如く四面國境に圍繞されたる國とは相違し、敵國の空中及地上よりの襲撃を受ける危険は勤いが其れにしても鐵道より道路の建設が主張せられる所以は云ふ迄もなく自動車運輸の長所に據るものと云ふことが出来る。但し將來航空機及其他の攻撃武器の能力及行動半徑が高まれば破壊可能性が増加して來るから米國が此の危険に曝されないと断言出來ない。

現在米合衆國が建設に着手せる道路の内、對日的意義を有する汎アメリカ道路を我々は看過することが出來ない。之はアラスカより南米の南部に通ずる延長二萬浬と云ふ世界最長のルートにして、其の延長は地球の半周に等しく、アフリカ南北縦斷道路たるケープ・カイロ・ルートを遙かに凌駕してゐる。此の道路は未完成ではあるが、アラスカのフェアバンクスを起點とし、カナダ及合衆國西部を通過し、メキシコ及中央アメリカを経て南アメリカの西部を縫ひ、チリーのバルデビアに達する縦貫道路である。其の間、このルートはペルーの南部國境に於いて分岐し、アンデス山脈を越へ南アメリカ大陸を横斷してリオデジャネイロに伸び、又この路線はリオデジャネイロに遡する途中に於いて分岐して一はブエノスアイレスに他はモンテビデオに達することになつてゐる。洵に驚異に値ひする尨大計畫である。米合衆國の自國領土以外に建設される道路の費用及技術的援助は莫大なものであるが、此の巨大なる費用を賡しても、汎アメリカ道路の建設は米合衆國にとつては重要なも

のと觀てゐるのである。然らば汎アメリカ道路の重要意義は何んであるか。一は軍事的意義であり他は經濟的意義である。

之が軍用道路として重要性を持つに至つたのは、合衆國がフィリッピンに於ける軍事施設を斷念するに及んだからである。假想敵國は云ふ迄もなく我が日本である。アラスカが北日本に對する空軍及海軍根據地となるのは火を賭るより明らかである。之が爲にアラスカへ通ずるアメリカ道路は兵站線として缺くことが出来ない。アラスカを走る道路は僅か四百軒であるが、之は雪害の多い狹隘なるアラスカ南端を通らずカナダの海岸山脈の東部を通つたからだと言面言はれてゐるが實は國防上の理由より海岸山脈を掩護壁として同山脈の背後に道路を建設した爲である。

アラスカへ通ずる道路と同様、パナマ運河に通ずる道路も亦國防上重大意義がある。蓋しパナマに海路を経て達することは、行動半徑の擴大せる飛行機及潛航艇の襲撃の脅威に曝されるからである。

第二の經濟的意義は、茲では當面の問題ではないが、その重要性に觸れておこう。中南米に米合衆國と連結せる優秀道路網が完成されれば、合衆國商品の販路の擴張及開拓に便宜であるのみならず、合衆國自動車工業の過剰生産の消費地として中南米は最も有望の市場となる。又南米に於ける獨逸勢力の驅逐と制壓に有效な役割を演ぜしめんしとてゐる。更に銘記すべきは日本商品の中南米進出を阻止せん爲の商業的意義を持つてゐることである。長距離自動車運輸は一般に鐵道運輸に

對抗することが出来ないと言はれてゐるが、合衆國の如くに燃料資源の豊富な又自動車工業の發展せる國にあつては自動車運輸の長所たる融通性スピード運送、運輸の完全性、戸口集荷配達の如き包装の簡易の特徴を十分發揮し得て商品一箇當りの運賃は低廉となり、海路輸送に依る日本商品に拮抗する可能性が得られる。輸出商品の原料を外國より仰がなければならぬ日本に於いては、對米爲替の不利と國內物價上昇傾向に禍ひされて日本商品の合衆國商品との競争能力は著しく弱められるのである。

自動車は道路を生むか、道路の建設改良に依つて自動車は普及發達するかと云ふ問題は、米合衆國で明確に解決することは不可能であるが、スチュードベーカー自動車會社社長ポール・G・ホフマン氏は「自動車は硬質道路を要求して之を出現せしめ、次には大幅道路を需めて之を建設せしめ、今や安全なる快適自動車道路を求めつゝある」と言つてゐることから鑑みると、自動車が道路を生むか割合が多いのではないかと觀られる。而も米合衆國にて第一回自動車展覽會が開催された今より四十年前の當時に於いて、改良道路と稱せられたものは都市に於ける並木道路に過ぎなかつた。

米合衆國と必ずしも對蹠的とは云ひ得ないが、道路が自動車を生んだと觀らるべき國は獨逸である。ヒットラー總統が國家の指導權を一九三三年一月三十日に掌握するや、同年二月十一日ベルリンの全國自動車展覽會開會式場に於いて、自動車専用道路建設計畫を發表し、同年十月より起工し、當

初の七千籽建設計畫がオーストリー合邦及びズデーテン地方の獨逸本土編入に依りて一萬二千籽計畫となつた。今後大獨逸國建設と共に自動車専用道路建設計畫が増長するは必至の勢ひである。既に完成し開通の運びになれる専用道路は一九三八年末に於いて三千六十七籽である。尤も今次歐洲大戰の勃發に依つて一箇年一千籽建設計畫は豫定の進捗を見てゐないのではないか。

ヒットラー道路と稱せられるこの自動車専用道路の建設目的は、自動車運輸それ自體の振興と當時に於ける公稱六百萬の失業者救済及國防的軍事的意義の爲であつた。之等の事柄は實際の而も何等疑ふ餘地なき理由であつた。併し乍ら特に注意すべきは自動車専用道路の建設を圖つて獨逸自動車工業の發展を促がし、かくして獨逸産業復興に刺戟を與へたことである。かくて一九三二年に於ける自動車一臺に對する人口數は百名であつたが一九三八年には四十四名となつてゐる。自動車工業の發展が國防力に如何に影響するかは、貨物及軍隊輸送に限らず軍隊の機械化並に自動車工業の生産過程が進んでは航空機工業につながつてゐることを知れば足りる。

事實ナチス獨逸が國民社會主義的政策を内外に實施するに當つては、強力なる軍備の背景がなければ其の發展は期し得られざる所であつて、ナチス獨逸の生存條件は國防力の擴充強化と云ふことであつた。近代戰の遂行には陸海軍の外に一國の國民經濟の生産性に依存はしてゐるが、併し決定的要素となるものは陸海軍の擴張整備と其の質の機械化である。前大戰の經驗に徴して機械化の重要性を認識してゐた獨逸が自動車専用道路の以上の直接間接の機能を高く評價したのは理の當

然であらう。

一九三六年に完成されたフランクフルト・ミュンヘン間一千五百軒は獨逸國防幹線道路と批評され、英佛ソ聯を刺戟したが、同じくフランスのマチノ線は難攻不落の要塞としてフランス自身の誇りであつた。之に依つてフランスは永久に敵軍の侵入を受けることがないと信じてゐたのであるが、かゝる守勢的態度は甚だ消極的であり、更にかゝる國防施設には他の軍事的重要な工業に何等の關聯性がなく國民に惰眠を貪ぼらしめる施設に過ぎない。道路を利用し、又道路と關聯のある機械化部隊の整備を完了せる獨逸陸軍の電撃作戰はフランスの消極的態度と良き對照をなす積極性である。既にマチノ線其のもの構築に今日のフランス敗北の因が胚胎してゐたと觀ることが出来る。尤もマチノ線と比肩される西部防壁、ジークフリート線も看過は出来ないが、之には第二次的意味しか與へられず獨軍攻勢の後援の役割を務めるに過ぎなかつた。而して此の西部防壁は一九三八年ヒツトラー總統の命令一下數ヶ月間に完成されたナチス獨逸の建設經濟の誇りであるが、この建設には獨逸自動車業組合RKBが資材其の他の全輸送を引受け、貨物自動車の大部分を動員し、RKB所屬貨物自動車は五臺に一臺の割合で此の事業に参加したと言はれてゐる。何はともあれ、マチノ線の案山子的存在は世界戰史に於ける良き警告となることは疑ひない。

併し乍ら、ヒツトラー道路は古代ローマ道路の如く軍事目的の爲にのみ建設されたものではなく、上述の建設目的の一たる新道路の建設に依りて自動車運輸を増強し以て獨逸經濟の躍進を計り大

獨逸の廣域的經營を容易ならしめんとする經濟的意義が没却せられてはゐないのである。洵にヒツトラ―道路は失業救濟策として脚光を浴びた、一面國防、他面經濟と云ふ兩面の容貌を備へてゐる。

○ 東亞に於いては我が陸海軍の敵都市空襲及授蔭ルートノ爆撃歐羅巴に於いては獨逸空軍の英本土空襲に關する報道記事で日々新聞はにぎはつてゐるが、前世界大戰に於ける空襲及自動車運輸の效果を知つて現状と對比することは無駄ではないであらう。

前世界大戰に於ける空襲の效果は局部的で、其の被害影響は戰爭全體より觀て左程甚大ではなかつた。大戰四ヶ年間に於けるロンドン空襲は百餘回にして、投下されたる爆弾は總量で二百七十噸に過ぎず、之に依る死者は千五百名であつた。「西部戦線異常なし」の報告當時フランスに於ける英軍が蒙つた被害と同數であつた。現大戰に於いては昨年六月以降獨機空爆の爲四萬七千名の英國市民が即死し又は重傷を受けたと言はれる。前大戰の空襲は云ふ迄もなく英國の國內運輸を混亂に陥れんとする計畫的なものではなかつた。當時の航空機は今日に比較して見ると甚だ幼稚であり、又爆彈の威力も前述の被害状況で推察出来る如くに大したものではなかつた。従つて空襲目的は主として物的影響より精神的影響にあつた。

今日はユンカース八七型及メツサー―シュミット機の如くに爆撃機は速度に於いて爆彈の搭載量に於いて著しく増大し、又投下技術に於いても急降下爆撃に見る如く砲兵の照準と同程度に精確と



なつてゐるから英國に於ける四大幹線鐵道(The London Midland and Scottish Railway, The London and North Eastern Railway, The Great Western Railway, The Southern Railway)の運輸能力の破壊は容易な仕事となつてゐる。尤も現今では航空機の發達につれて精巧なる高射砲が發明され意の儘に爆撃することの困難となつてゐることは否めない。今より數年前四貨物列車間に突發した衝突事故に依りロンドンを中心とせる鐵道の運輸組織が二十四時間も停止した事件があつた。此の經驗から徴して直撃彈が假に六箇あれば優に之以上の運輸混亂を招來することが出来る。尠くとも數日間もは收拾出來ざる状態に陥るであらう。更に又復舊工事を妨害する空襲が敢行されることも事實である。

併し乍ら空襲は鐵道と同程度の被害を道路運輸に與へるものではない。幹線道路には云ふ迄もなく爆撃が加へられるが此の場合路線變更は鐵道より容易であるから道路が修理不可能の損害を受けた場合、彈藥、食糧及兵員の輸送は二級道路に依つて十分補ふことが出来る。此の事實は支那に於ける自動車運輸を主とせる援蔭ルートが如何に我が效果的爆撃に見舞はれるとも餘命を保てるを説明するものにして之は全く破壊しても直ちに修理が出來又は路線の變更が可能の軍公路のお蔭である。若し公路に依る自動車運輸が杜絶することになれば重慶政府は既に餓死してゐる筈である。が故にこそ日本軍の佛印進駐に依りピルマルートの空爆遮斷を圖る所以である。

前大戰に於いて英國植民地より英本土へ食糧輸送の爲運送船團が編成され英國軍艦の護衛の下

にプリストル灣内の諸港に入港し、此處で貨物の陸揚げを行ふことになつた。而して之等諸港より、英本土内地への輸送は當時に於いては鐵道に頼るより外はなかつた。所が鐵道は或る理由で貨物運輸に應ずべき貨車を提供することが出来なかつたのである。今日に於いては道路運送の發達に依りかゝる問題は卽座に解決し得るであらう。當時に於いては大洋を渡つて輸送された食糧品の貯藏の爲には冷蔵倉庫の設備がなかつた。止むなく、新たに運送船十五隻を仕立て、ニューカッスルに運送することゝなつた。然るに此の迂回航行中に九隻は獨逸の敷設水雷及魚形水雷の災厄に遭ひ、魚族の好餌となつてしまつたのである。而も當時の英國は海外よりの食糧供給が不足してゐた爲、敗戦 possible の憂鬱に閉ざされてゐたのであるから、此の時數千噸の貴重な食糧を喪失したことは大打撃であつたらう。プリストル灣は今日に於いても前大戰と同様大西洋航路の利便と獨逸海軍の制覇圏外にある故に英本土にとつては生命的港灣となつてゐる。従つて獨逸空軍の爆撃目標になつてゐることは新聞報道に依つて知られてゐる。

又フランスに於けるマルヌの會戦にはパリにて徵發せるククシー及私用自動車に依る道路運送を以てフランス豫備軍は敏速に決戦に参加して勝利を贏ち得ることが出来た。ヴェルダンに於いては自動車運輸に依つて後方地域との連絡が緊密にとられたので一ヶ月間の抗戦能力は十倍乃至十五倍となり、茲に獨逸軍の期待に反せる結果が突如として生ずるに至つたのである。即ち道路輸送はヴェルダンの運命の決定的要素となつたのである。フランスの兵士が氣の狂つた道と呼んだ

程一地點を一晝夜の間に六千臺の自動車が通過したと言はれる。ヴェルダンに於ける道路運送が若し其の効果を發揮することが出来なかつたならば、クレオボトラの鼻の如く世界の形勢は逆になつたかも知れないのである。

今次大戦に於けるポーランド及オランダ、ベルギーの降伏遂にはダンケルクの悲劇之れに伴ふフランスの敗北は實にナチス獨逸の機械化部隊の電撃的軍事行動に負ふ所が大である。ポーランド作戦は一九三九年九月一日に起こされたのであるが、ポーランド側は二三箇月後に對獨戰を執行せんと豫期してゐたのである。蓋し其の季節はポーランド特有の雨季であり、元來近代的道路の少いポーランドは悪路に依り獨軍機械化部隊の活動を不能にならしめんとしてゐたのである。此の氣候並にポーランドの地理的條件を知悉してゐた獨軍は雨季に入らない前ポーランドを機械化部隊の車輪にて蹂躪したのである。ベルギー、オランダの侵入は昨年五月十日に開始されたのである。此の時にも獨逸陸軍は機械部隊を主力として、其の地方の道路網の發達を利用して猛烈な進撃を行ひ、茲に英佛聯合軍のオランダ、ベルギー援助となり、次いで獨軍のフランダーを包圍戰となり、その結果英佛軍側に利があらさず、遂には世界史上の戰爭悲劇ダンケルクの陥落となつたのである。勿論この戦ひに於いて獨逸空軍の急降下爆撃機 *Stuka* = エンカース八七型並に落下傘部隊の活躍は無視することが出来ないが、決定的勝利は矢張地上作戦に依るより他はないのである。ダンケルクの悲劇は、前世界大戦に於いて獨逸が苦杯を呑んだヴェルダンの復讐戰とも見ることが出来る。

「余の知らない言葉は唯降伏の二字のみである」と云ふヒットラーの精銳獨逸軍がパリ入城を開始したのは六月十四日であつた。此の歴史的大光景の傍觀者の言に依ると、獨逸軍先鋒は十四日拂曉パリ市北郊城門から市街に行進し、シャンゼリゼーの大通りを進み、之に後續する戦車隊及機械化部隊はパリに至る道路を眞黒に埋めつくした。埃と泥に塗みれた戦車隊がパリ郊外アルジャントイユ及ヌイイーからパリ城門に殺到する光景は見る者の目を奪つたとのことである。

獨逸陸軍の機械化には前述の如く自動車工業の發展即ち自動車化計畫及自動車専用道路網の建設が重要な支柱となつてゐる。一旦軍事行動が起こされるや民間自動車の三分の二は軍用自動車と見られ、之に依ると百萬臺以上、此の外軍用機械化車輛が幾十萬臺と動員されることになつてゐたから、攻撃力の補給強化並に戦時運輸に十分適應することが出來たのである。「兵は勝ちを貴び久しきを貴ばざる、孫子の兵法は洵に今迄の戦績を觀るに道路と之が促進した自動車に歸因すると言つても過言ではないであらう。更に一步進めて云ふならばヒットラー道路こそ獨逸を救ひ、獨逸にこの度の勝利を與へた道である。」

我が國に於いては地理的關係より戦時下に於ける道路と云ふ問題が獨米の如く重要視されてゐないが、又道路と關聯を有する自動車工業も外國依存を脱却しつゝ、獨立を目標としてから辛つと十七年目である。道路が自動車を、自動車が道路を生むにしろ、兎に角、優秀道路の建設と自動車工業の

發展及燃料問題解決は、其の相互關係に於いて高度國防國家建設に重要な要素である。

自動車工業の發展は歐米先進國に遅れること三、四十年に及び、航空機工業が自動車工業に先驅すると云ふ變態的過程を経てゐる。日本の如き燃料資源が乏しいが、さりとて内燃機關の重要性が認識されてゐる國は、人造燃料の研究も更に自動車工業の發展も尙早に行はれるべきであつた。燃料問題の解決及自動車工業の生産能力が現下の我が國の要求を充たす程發達してゐたならば、輸送能力の貧困は現在より緩和されてゐたことであらう。更に軍の機械化も著しく容易であつたらう。

國境に圍まれた國の國防交通は破壊され易く復舊の至難なる鐵道よりは之に劣らぬ機械を有する道路の組織的建設こそ高度國防國家の交通便利にふさはしいものであると學者は云ふ。此の事實は我が國の兵站基地と稱せられる大陸接續の朝鮮並に複雑なる近接地を海を距て、有する臺灣に當てはまるが、今日の如き長距離航空機の發達を考へらば我が國にも當然妥當し得る。

自動車工業は現在國家の助成事業として順調の歩みを續けてゐるが、優秀道路の建設に關しては之と歩調を合はせてゐない憾みがある。併し乍ら道路の經濟的國防的意義が認識された以上は、事情の許す範圍に可及的に建設さるべきである。其の場合、道路の建設には云ふ迄もなくヒットラー道路の如く平時戰時の利用目的を十分考慮に入れ、重量輸送、空爆に堪へるべき構造、最高速度の走行可能性が具體化され、空中よりの明確なる目標になり勝な道路表面の迷彩にも意を配らなければなら

なす。

國防經濟的幹線道路の建設が我が國に於いても當局に於いて慎重に種々研究されてはゐるが、それよりも東京下關間高速度廣軌鐵道の建設の方が早く具體化されると聞く。出來得べくんば鐵道に代るに科學的自動車専用道路の出現を要望するものであるが併しそれも政治的事情より不可能なりとすれば目下計畫中の鐵道建設には國防經濟的見地より其の大部分を地下鐵道となし運輸能力及速度の増大を圖り鐵道の自動車運輸に比して劣れる點の補足を工夫されるやう要請するものである。